

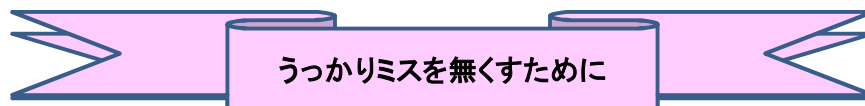
☆ ヒューマンエラーをなくす努力をやっていますか？

★ヒューマンエラーは、何故起きる？

- ① 知識や技能の不足による(知らない)
管理者や作業者が作業標準の内容を知らない、理解していない、技能を持っていないため。
- ② 意図的な不遵守(やらない)
管理者や作業者が作業標準の内容を知っており、技能も有しているが、大丈夫だろうなどの理由で意図的に作業標準を守らなかったため。
- ③ 意図しないエラー(人の特性)
管理者や作業者が必要な知識・技能を有しているが、目の錯覚・聞き間違い・記憶の誤りで予想外の判断をして行動したため。



- ①は、当事者の「適正配置」や今後の「教育」で回避できる。
- ②は、「悪いと知っていてやった」ことで、「プロとして絶対に起こしてはならない過ち」です。
- ③は、「うっかりミス」とも言い、誰にでも起こりうるもので、災害の原因の多くがこれにあたります。



- 対策 1 作業環境や作業手順の改善を行う。
⇒例えば、ミスを起こさないよう、作業環境を明るくする、危険物を色別したり、注意表示をして改善する。
- 対策 2 ミスを起こしても災害(事故)とならない工夫をする。
⇒例えば、クレーンの過巻防止装置や漏電ブレーカー《本質安全化》
- 対策 3 危険を事前に予測できる能力を身につける
⇒例えば、KY活動やリスクアセスメントがこれに当たります。

- ◆ しかし、これらの対策が十分に行われていても、
うっかりミスは、なくなりません。
しかし、**ゼロに近づけることは可能です。**

優れた対策も担当者や作業者等の関係者全員が参加しない場合は、簡単に忘れられてしまいます。必ず全員参加で対策を講じ、コミュニケーションをしっかりと取りながら、お互い注意しあえる一体化した作業所を築くことが、エラーをゼロに近づける為に最も大切な事です。《全員が当事者意識を持って危険有害要因の抽出やその防止対策を行う》

- 【一言】小さなエラーの連続は、大きな災害の引き金となり、会社の存続を脅かし多くの人の人生を狂わせます。だからこそ全員が協力し、エラーを見逃さない・発生させないように日々の努力を積み重ね安全作業に努めましょう。